

(3) 起業家： 諸外国の起業家・エンジェル税制優遇③

	趣旨・目的	起業家	エンジェル投資家
ベルギー	新事業や新たな雇用の創出、社会保障の維持、個人の貯蓄の成長資金への活用	<p>キャピタル・ゲイン課税なし(※職業上の収入と見なされる場合のみ課税)</p>	<p>○クラウドファンディング(Spreads)による個別企業への投資又はポートフォリオ投資：投資額の45%を所得税控除。</p> <p>○個別企業への直接投資：投資額の45%を所得税控除。</p> <p>○スタートアップ・ファンドへの投資：投資額の30%を所得税控除。</p> <p>※1 いずれも€10Kが上限。4年以降の株式保有が条件。</p> <p>※2 企業の規模等で控除率が変化。上記控除率は、創業4年以内、従業員が10名以下等の場合。</p>
アイルランド	個人のスタートアップ企業に対するエクイティ・ファイナンスの奨励等	<p>適格資産を売却した際の利益のキャピタル・ゲイン税率を10%に軽減(通常は33%)。生涯上限は€1M。</p> <p>※ 売却前5年間のうち3年間連続で株式を保有していること等が条件。</p>	<p>投資額の最大40%【投資が行われた年に最大30%、4年後に最大10%】が所得税から控除。€15万/年が上限(2020年まで)※(注1、注2)</p> <p>※1 従業員10名、年間売上€2Mの未上場のMicro enterprise又は従業員50名、年間売上€10Mの未上場のSmall Enterpriseが対象。</p> <p>※2 スタートアップ企業の本制度を活用したリスクファイナンスの上限は€15M。</p>

(3) 起業家：ストックオプション税制

- スtockオプションは、従業員等のインセンティブを高める制度として活用。
- 我が国の制度では、権利行使価格の年間合計額の上限が1,200万円となっているが、これについて「上限額が低すぎて国際的な人材獲得競争に負ける。上限額を100倍にすべき」との指摘あり。

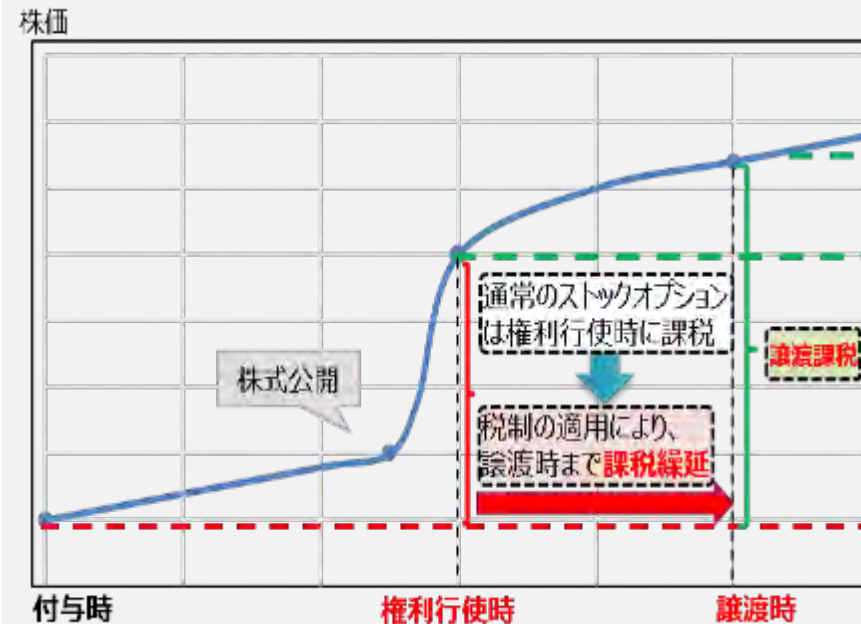
ストックオプション税制

- 通常、(1)権利行使時(権利行使価額で株式を購入した際の未実現利益)及び(2)その株式売却時(売却価額と購入価額の差額による譲渡益)に所得税が課税。
- ただし、税制適格要件※を満たせば、(1)の時点では非課税(課税の繰り延べ)。
- 2019年の税制改正では従来の取締役・従業員から、スタートアップの成長に貢献する社外の高度人材にまで対象を拡大。

※税制適格要件(租税特別措置法第29条の2より抜粋)

- 一 当該新株予約権の行使は、当該新株予約権に係る付与決議の日後二年を経過した日から当該付与決議の日後十年を経過する日までの間に行わなければならないこと。
- 二 当該新株予約権の行使に係る権利行使価額の年間の合計額が、千二百万円を超えないこと。
- 三 当該新株予約権の行使に係る一株当たりの権利行使価額は、当該新株予約権に係る契約を締結した株式会社の株式の当該契約の締結の時ににおける一株当たりの価額に相当する金額以上であること。

ストックオプション税制のイメージ図



(3) 起業家：セカンダリー・マーケット

- 米国では、ユニコーン企業等の未上場状態の長期化に伴い、非上場段階での流動性(株式の現金化)の需要が高まり、セカンダリー・マーケットを対象としたオンライン・プラットフォームが急速に成長。
- 米国制度は一定の要件を満たすプロ投資家のみが参画できる市場となっているが、日本では同様の制度が存在しない。

米国のオンライン・プラットフォーム

投資対象スタートアップ

・未上場スタートアップ

※税制優遇措置との関連で、テック系スタートアップが主な対象

投資家要件

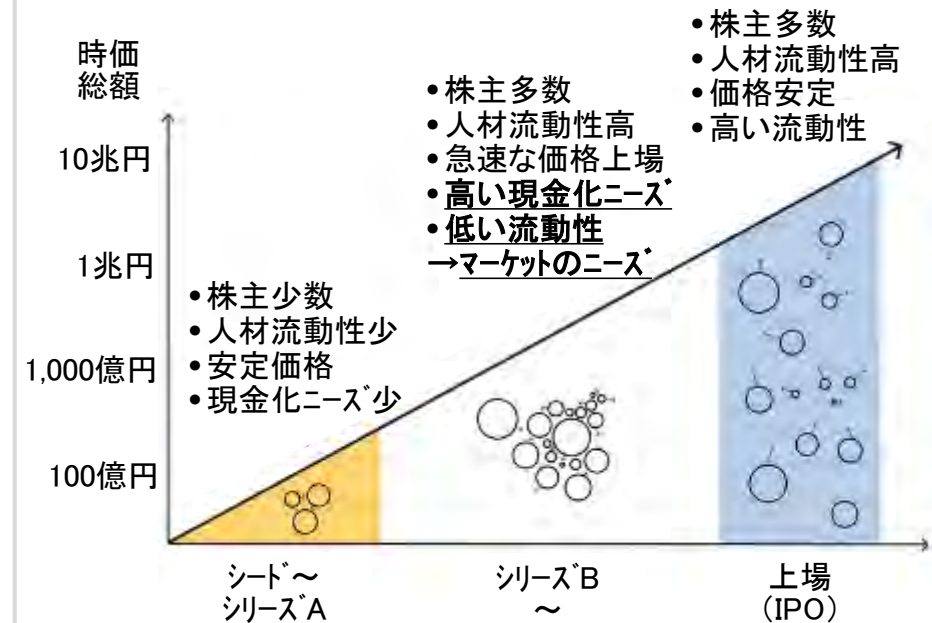
Regulation Dを満たす投資家

- ・資産約1億円(100万ドル)以上
- ・年間所得約3千万円(30万ドル)以上
- ・投資に関する専門経験

オンライン・プラットフォーム(累積取引額)

- ・Second Market: 約4.4兆円(400億ドル)
- ・Forge Global: 約1.4兆円(120億ドル)
- ・Carta: 約1.1兆円(100億ドル)

マーケット・ニーズの仕組み



Jan-Erik Asplund, "The Privately-Traded Company" (2020)

セカンダリー・マーケット事例 (Forge Global)



Toast

Sector
Enterprise Software

Last Round Est. Valuation
\$4.9B

Fanatics

Fanatics

Sector
Fashion

Last Round Est. Valuation
\$12.76B



Discord

Sector
Gaming

Last Round Est. Valuation
\$15.2B



Boston Dynamics

Sector
Electronics

Last Round Est. Valuation
\$100MM

Sell Your Shares



Autonomous
Supersonics

Last Valuation: \$18B Funding to Date: \$1.19B

Autonomous Supersonics develops self-flying aircraft designed for travel faster than the speed of sound. Their first successful test flight occurred in 2019.

Share Type Common

Number of Shares 20,000 30,000

Price per Share 14.50

Transaction Size \$ 290,000.00 - \$435,000.00

CANCEL

CONTINUE

(3) 起業家：メンター、アクセラレータによるサポートの強化

- 起業を志す若者が、メンターやアクセラレータからの支援を受けられる環境は決定的に重要。
- 日本にはメンターやアクセラレータが圧倒的に不足していることから、内閣府では、海外のトップアクセラレータの呼び込み及び国内スタートアップの海外展開促進のための支援を開始。

グローバル・アクセレーション・プログラム

概要

目的：スタートアップのグローバル市場参入や海外投資家・企業からの投資の呼び込みの促進

内容：海外トップアクセラレータの支援を得て、国内スタートアップの事業戦略策定や国際的な専門家とのマッチング等を実施

※4年度以降のアクセラレータ選定にあたっては、日本進出意向も考慮して選定、海外トップアクセラレータの呼び込みや定着にも貢献

実績

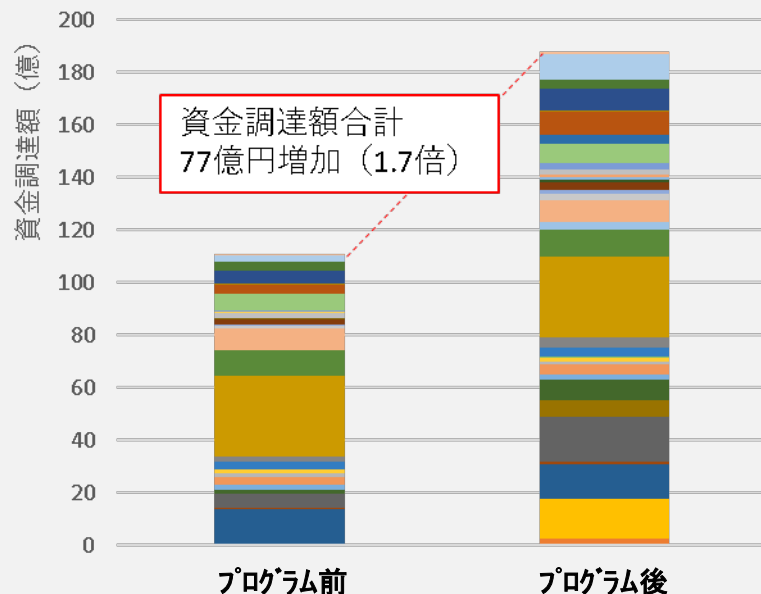
2020年度：

- ・参加国内スタートアップ：49社
- ・海外アクセラレータ：2社（Techstars, WiL）

2021年度：

- ・参加国内スタートアップ：109社
- ・海外アクセラレータ：6社（WiL, Plug and Play, Techstars, Alchemist Accelerator, CIC, Berkeley SkyDeck）

アクセレーション・プログラム前後の資金調達額の変化
（2020年度参加企業49社の合計）



- 約50%の企業が1年間で調達額増加
- 参加企業49社の調達額は1年間で合計77億円増加（1.7倍）

(3) 起業家：経営人材の確保

- スタートアップには、成長段階に応じた多種多様な人材が必要。
- スタートアップの成長を支える人材を供給するため、大企業の優秀な人材がスタートアップでも活躍できるよう、大企業・スタートアップ間の人材流動性を高めることが重要。

大企業等人材のスタートアップへの供給に関する施策

出向企業等による新規事業創造の実践

大企業等の人材が、出向の形で、自ら起業する場合（出向企業）の事業費への補助や、案件開拓・広報等の支援。

（大企業等人材が出向等の形で自ら起業する事業の想定事例）



中小企業・スタートアップへの兼業副業・出向等支援補助金

大企業等に所属する人材が、副業・出向等により中小企業・スタートアップへ経営参画する場合の費用支援。

※経済産業省資料より

メルカリの売上高と従業員数の推移



*1:従業員300人以上の企業を大企業と定義
出所: SPEEDA, 公益社団法人全国求人情報協会「2021年卒業生の就職活動の実態に関する調査」

※経済産業省 産業構造審議会 経済産業政策新機軸部会資料より

(3) 起業家：外国人起業家の在留資格

- グローバルに展開するメガ・スタートアップの創出には、優れた外国人起業家を呼び込むことが必須。
- 日本では地方公共団体から起業支援を受ける外国人起業家に対して在留資格を認める制度(スタートアップビザ)を実施している一方、主要国ではVC、インキュベータ、アクセラレータ等からの投資・採択を受けることをビザの要件としている。

スタートアップビザ制度

要件: 創業活動計画書の地方公共団体からの認定
 ※ 在留資格は「特定活動(起業準備活動)」

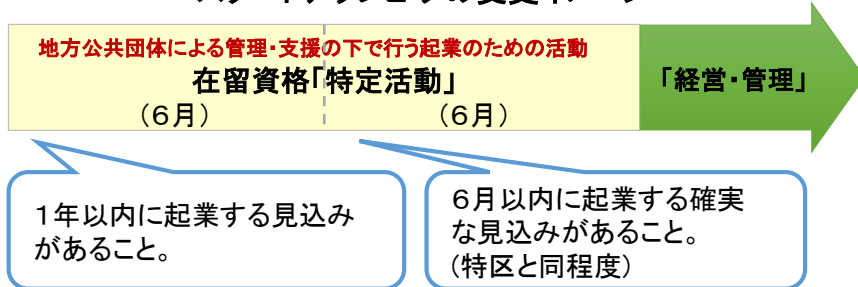
期間: 最長1年間

申請: 郵送+窓口

手続きフロー:

- ・地方公共団体
 管理・支援のプログラムの作成及び実施、外国人の選定
- ・経済産業省
 地方公共団体が作成した管理・支援のプログラムの認定
- ・地方出入国在留管理局
 在留資格「特定活動」の審査、許否の決定等

スタートアップビザの変更イメージ



※経済産業省資料より

諸外国の制度

	措置(ポイント)
英国	要件: 認定機関(高等教育機関、起業家を支援する機関(エンジェル/インキュベータ等))による承認 期間: 2年、イノベータビザへの切り替えあり 申請: オンライン
フランス	要件: ①仏最低賃金以上の財力又は年間給与 ②以下の認定機関うちどれかに該当 ・パートナーインキュベーター等へのアドミッション ・テック・キャピタルの支援を受けれているインキュベータ又はアクセラレータへのアドミッション ・研究機関や企業等からの支援の取り付け 期間: 4年、更新あり 申請: オンライン+大使館等
カナダ	要件: ①一定のビジネス経験 ②指定機関(VCファンド、エンジェル投資家、インキュベータ)からの支援取り付け ③語学力、④生活資金の有無 期間: 1.5年、 申請: 郵送+政府窓口

(3) 起業家： 起業家の活躍促進(育児支援)

- 起業家が、出産・育児期でも活躍ができる環境の整備は事業継続する上で重要。
- スタートアップも含め、ベビーシッターを利用した場合の利用料金の一部を支援する仕組みが存在。

企業主導型ベビーシッター利用者支援事業

<事業内容>

- ①ベビーシッター派遣事業
繁忙期の残業や夜勤等の多様な働き方をしている労働者が、ベビーシッター派遣サービスを利用しやすくなるよう利用に係る費用の一部を支援する。
(補助額2,200円/枚、1日 児童一人あたり2枚、月 一家庭あたり24枚を上限)
- ②ベビーシッター研修事業
ベビーシッター事業者及びベビーシッターサービスに従事する者の資質向上のための研修、啓発活動を実施する。

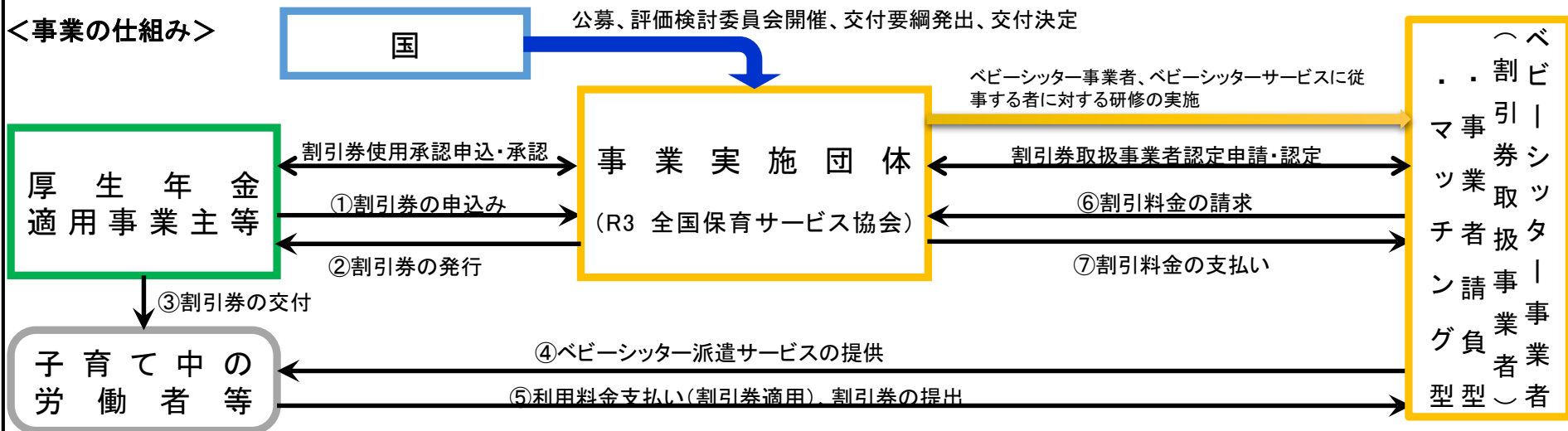
<実施主体> 公益社団法人 全国保育サービス協会(令和3年度)

<補助単価>

- ①ベビーシッター派遣事業 事業費： 562百万円 事務費： 23百万円
- ②ベビーシッター研修事業 事業費： 26百万円 事務費： 20百万円

<補助率>定額(10/10相当)

<事業の仕組み>



(3) 起業家：スタートアップ向けのグラウンド・チャレンジ

- 諸外国では、革新的なスタートアップ創出促進のため、グラウンドチャレンジ/コンテストが実施。
- 我が国では、分野横断的な国際的かつ大規模なものは実施されていない。

Hello Tomorrow Global Challenge【フランス】

■対象：ディープテック

(宇宙、データ・AI、デジタルヘルス、エネルギー・環境、食糧・農業
パテント、モビリティ等10領域)

※世界から4000件以上の応募

■主催：Hello Tomorrow, 経済・財政省と連携

※パリに本社、世界中に6つのハブ拠点

■内容：€100K、200以上のトップVCとのミーティング、 産業界とのパートナーや顧客とのネットワーキング等

NYC BigApps Blockchain Challenge【ニューヨーク市】

■対象：ブロックチェーンスタートアップ

■主催：NYCEDC(米・市役所) 及びSecondMuse

※New York City Economic Development Corporation

■内容：州や市職員によるニーズ発掘ワークショップ

60以上の提案

上位10チームのプレゼン (Demo Day)

賞金及び各種支援 (上位者)

自治体による採用 (最優秀者)

K-Startup Challenge 【韓国】

■対象：グローバル・ディープテック

(AI, Big Data, VR, Smart City, Health, Green,
Blockchain等)

※世界から60チームが選定

■主催：韓国政府

■内容：3.5か月間のアクセラレーション・プログラム (60社)

立ち上げ資金提供 (上位30社~60社)

賞金 (上位10社)

オフィスの提供

Startup Chile 【チリ】

■対象：アーリー段階/ポテンシャルの高い起業家

※テンアリアを中心に250社/年の公募

■主催：チリ政府

■内容：

① プレ・アクセラレーション・プログラム (資金と3ヶ月間プログラム提供)

② アクセラレーション・プログラム (資金と6ヶ月間プログラム提供)

③ Follow-on fund (大型資金提供)

※VISAの発給もあり

(4) 都市による取組み：世界のスタートアップ都市（"The Economist"記事抜粋）

- 世界のスタートアップ輩出は一部の都市への集約化が加速。
 例) イギリスのVC投資に占めるロンドンの割合は50%(2011年)から70%(2021年)に上昇
- 各都市の構成要素： ①人材、②開放性(国際性、人材流動性等)、③リスク資本
- 東京は、①大企業の存在、②世界との孤立(英語能力の低さ)により、トップ12位の圏外。

世界のスタートアップ主要都市 (ユニコーン輩出上位12都市)



※ The Economist "The new atlas" 4/16/2022